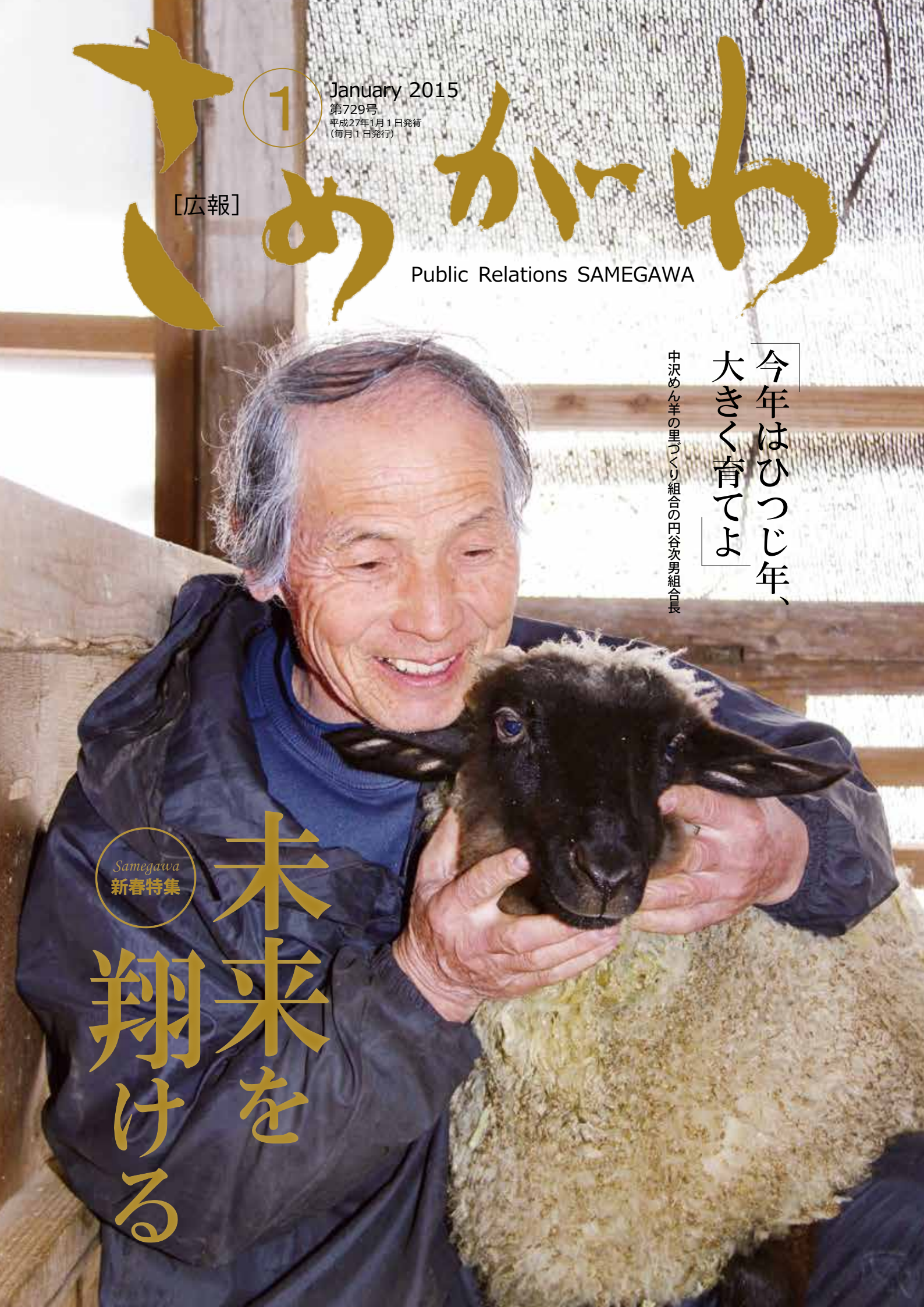
［広報］
さめがわ
1
January 2015
第729号
平成27年1月１日発行
（毎月１日発行）
Public Relations SAMEGAWA



「今年はひつじ年、大きく育てよ」
中沢めん羊の里づくり組合の円谷次男組合長

Samegawa 新春特集

未来を翔ける

村民が誇りを持って住み続けられる そんな村づくりを進めていく



大樂勝弘 村長
Katsuhiro Dairaku

鮫川の自慢は、農村景観です。私が考える農村景観は、草刈りが行き届いているだけでなく、耕作されていることが前提にあります。つまり、農家の努力によって維持されています。しかし、農産物が低価格で取引されている現状は、農家の生産意欲を欠く要因になります。農業の経済環境を改善したいという思いで、村政を行ってきました。

昨年2月には、大雪により農業用パイプハウスの倒壊が相次ぎました。救済策として、再建費用の補助を行うなど、農家を支えることから始まった一年でした。収穫の秋には、米価下落が発表され、農家の落胆も大きかったことでしょう。これには、議会の協力を得て、生産費を補てんして対応しました。これらは、小さな村だからできた農業支援だと思います。小さな支援ではありますが、一つ一つ積み重ねて農家を支えてきました。

自主自立した農業経営ができ、農業に自信と誇りを持って取り組めるような環境をつくることが夢です。その手段として、有機栽培があります。村外から鮫川の農産物を買い求めるのはなぜでしょう。「鮫川の野菜はひと味違う」と本物を知っている消費者がいるからです。これに励まされて有機栽培に取り組む農家は増加しています。そういった農家を支援しながら、特色ある農家づくり、農村づくりを行っていきたいと考えています。農村は、農家が元気になれば地域活性化、商店活性化につながるはずです。

公園整備を進めている舘山では、新たな遊歩道を3本設置しました。舘山を中心に、村農産物加工・直売所「手・まめ・館」、村民保養施設「さぎり荘」、旧湯の田温泉「西島旅館」を結んだ周遊コースが確立すれば、さらに村外から多くの人が足を運ぶと思います。皆さんで意見を出し合い、村の宝に磨きをかけて魅力的な観光地へと育てましょう。

観光客をどのように商店街に誘導していくのかもさらなる課題です。若い人たちの発想や技術を生かした手作り商品を販売し、買い物客を刺激することも手段の一つだと思います。観光資源と人材、この2つの宝に磨きをかけることで、流入人口を増やすことができるはずです。

今年4月からは、第4次鮫川村振興計画が始まります。鮫川に誇りを持って住み続けてもらえるような村づくりをしていきたいと考えています。量より質を求めた第3次振興計画は素晴らしいものでした。これを踏み台にして、さらに飛躍しなくては人口減少を食い止めることはできません。これからの鮫川をけん引していく若い人たちが、どのような生き方を理想とし、環境を望んでいるのか。若い人たちの声をしっかり聞きたいと思います。また、声を届けてほしいとも願っています。第4次振興計画が年配者の思いと若い人たちの考えが融合したものになっていることを期待しています。

村民の皆さんに関心を持ってもらえる議会運営を目指します

昨年、初めて「子ども議会」を開催しました。議会改革特別委員会が行った「住民アンケート調査」で「子どもたちの声を聞いてみては」という意見が寄せられ、それがきっかけとなりました。子どもたちは、生活の中で疑問に思っていることや感じていることをまとめて、行政に対する質問や提案として堂々と発表してくれました。子どもたちの表情が生き生きとしていたことが印象に残っています。

これまで、子どもたちと向き合い、意見交換する機会はほとんどありませんでした。子どもたちと行政、議会が対面し、直接子どもたちの素直な意見を聞く。そして、それに対して村長と教育長が答弁したということは、村にとっても議会にとっても重要な一歩を踏み出したと思います。子どもたちにとっては、村や議会への理解を深めるきっかけになりました。議会を少しでも身近に感じ、興味を持ってくれたのではないでしょうか。今後も、子どもたちとの関わりを増やし、互いに理解を深め合いたいと思います。

昨年は、子どもたちの活躍が目立った年でもありました。スポーツ大会をはじめ、合唱、読書活動など、さまざまな分野で成績を残しました。子どもたちが頑張る姿に元気をもらった人も多いのではないでしょうか。

村の未来を担う子どもたちを育てることは、村づくりにおいて重要です。豊かな知識と学力のある村を目指し、学習に集中できる環境づくりに力を入れなければいけません。勉強とは、分からないことが分かるようになること。その度に、感激を覚えます。その繰り返しが学習意欲が高まることに結びつくのではないでしょうか。議会として、子どもたちの可能性を引き出す手助けができるのではないかと考えています。鮫川の環境の中で、伸び伸びと成長してほしいと願っています。

まもなく東日本大震災から4年が経とうとしていますが、いまだに東京電力福島第一原子力発電所事故による風評被害が拭い切れておらず、生活・農業生産が脅かされています。議会が行動を起こすことで拭い去れる部分があるはずです。一日も早く誰もが安心・安全に生活できるようになることを望んでいます。

村の発展を担う人の議会への関心が高まり、若い人や女性がそれぞれの立場から発言してほしいです。そして、若い人や女性の議員が誕生することで、新たな視点で議会が運営されることを願っています。そうすることで、さらに議会に関心を持つ人が増えるのではないでしょうか。

行政と議会、村民が互いに手を取り合う形が理想。みんなで意見を出し合い、村づくりを考えることが大切です。ほかのまねをせず、鮫川村だからできることをやっていくべきです。



前田三郎議長
Saburou Maeda

Samegawa
新春特集

未来を翔ける

未が来ると書いて「未来」
羊が羽ばたくと書いて「翔」ける
夢への挑戦は、未来を開きます
新しい一歩は、明日へつながります
さあ、迷いを捨て、ためらいを振り切って
新しい自分探しの一年に

不安はあって当たり前 プラス思考で自身の力に変える

地域おこし協力隊　岡部良典さん（54）・高野大助さん（42）


Okabe Yoshinori


Takano Daisuke

岡部良典さん（54）と高野大助さん（42）は、鮫川村地域おこし協力隊（以下「協力隊」）。岡部さんは２０１３年12月に、高野さんは２０１４年４月に着任した。住所も出身も職業も異なる２人は偶然、協力隊の募集で鮫川村を知り、ここでの生活を決めた。

古殿町出身で当時、東京に住んでいた良典さんは「震災を機に、福島のために何かしたいと考えていました。これまでの経験を役立てることができると思いました」と動機を話す。広島県出身の大助さんは「人生は一度きり。ふるさとを離れて、新しい土地や環境でいろいろなことに挑戦したいと思っていました」と振り返る。

移住や転職に不安は付き物だが、ポジティブな二人はそれさえも自身の力に変えてしまう。「何事もやってみないと分からないので、先入観を持たないことが不安払しょくにつながります」と良典さん。大助さんは「新しいことへチャレンジしたいという気持ちが気候、風土や言葉の違いを越えてなじむ秘けつ」ときっぱり。

かつて百貨店に勤務していた良典さんは、村農産物加工・直売所「手・まめ・館」の販売を担当。商品の陳列やディスプレーづくりにスキルを生かす。食品製造会社に勤めていた大助さんは、豆腐やみそなどの加工品を担当しながら、新しい特産品開発にも意欲的だ。今年中には新商品の「しょうが湯」と「抹茶くず湯」が完成する見込みで、「やっと形にできる」とほっとした表情を見せる。

２人の共通点は、例え逆境に立たされても、その苦労や困難を自身の力に変えてしまうプラス思考。２０１５年も「ヨソ者」の視点で新たな風を起こしてくれるにちがいない。


Komori Taeko

家族の言葉に背中押され カフェは小森家の夢

小森多恵子さん（56）　赤坂東野字戸草


Namatame Mayumi

「長年の夢を叶えたい」 その思いが第一歩へ

生田目真弓さん（33）　赤坂東野字広畑

赤坂東野字戸草の静かな山里に２０１４年５月、「絵本喫茶 Little Café」をオープンした小森多恵子さん（56）。たくさんの絵本や雑貨が並ぶほっこりできる店内で、ピザ、パスタ、オムライスなど女性に人気の「カフェご飯」とさわやかな甘さが特徴のスイーツを楽しめる。

カフェを始めようと思い立ったのは10年前。もともと、落ち着けるカフェやお菓子作りが好きだった多恵子さんは「地域の人たちが気軽に集える場所をつくりたい」と夢を膨らませた。不安がなかったわけではないが、「いいね、やろう」と賛成してくれた家族の言葉が「背中を押した」と振り返る。

夫婦共働きだった多恵子さん。「お金をかけずに自分たちの手で造りたい」と夫洋一さん（62）と休日を利用してカフェ造りをスタート。途中、あきらめかけたこともあったが、夫婦二人三脚で一つ一つ困難を乗り越え、見事に完成させた。

ところが、オープン目前の２０１１年３月11日、あの東日本大震災が起こった。東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染問題が深刻化する中、「食べ物を提供することができるのか」と心が折れた。「お母さん、やろう」。長女蘭子さん（28）が再び多恵子さんの背中を押した。

家族全員でメニューを考えた。来る日も来る日も試行錯誤しながら料理を作った。多恵子さんの夢は、いつしか小森家の夢となった。そして、みんなの思いが詰まった「絵本喫茶 Little Café」が完成した。

現在は休日限定で営業。多恵子さんと蘭子さんが親子で切り盛りする。「カフェで働くことは私の癒やし。そして生きがいです」ときっぱり。「次は庭の手入れです。子どもたちが遊べる場所を作りたい」。今春のリニューアルオープンに向け、夢は広がる。


ぬくもりあふれる手作りの店内

昨年10月から着付け教室に通う生田目真弓さん（33）には、３人の愛娘がいる。未経験だった真弓さんは、着物のたたみ方など基礎から始まり、今では着付けができるまでに。長女真歩さん（小１）は「家でも練習しているお母さん。着物姿がかわいい」と応援する。

美容師だった真弓さん。真歩さんの出産を機に退職し、育児と家事に専念してきた。着付けを習いたいと思い始めたのは、三女真來ちゃん（３つ）を出産したころ。「自分で着られるようになりたかったし、子どもたちにも着せてあげたいと思いました」。子育てが落ち着いたら復職したいと考えていた真弓さんは「着付けのスキルを身に付けてから働きたい」と一歩踏み出した。さらに、「いつかは自分の店を出したい」とも。つまり、着付けの習得は、復職だけでなく夢実現への第一歩でもある。

「最初は、敷居が高いように感じて不安もありました。でも、不安より習いたい思いが強く、ためらいはありませんでした」。一方で、教室選びに半年間を費やした。広告を見たり、インターネットで調べたり、人に聞いたりして探した。「絶対に失敗したくなかったから」と確固たる決意をにじませる。

ある日の新聞広告に目を留めた。低料金の上、短期間で学べることが魅力だった。教室に通って、着付けはもとより着物の奥深さにひかれたという。「もっと高いレベルで着付けを学びたいです」ときっぱり。

昨春から真來ちゃんをは、こどもセンターに通う。自由な時間を持てるようになったとはいえ、３人の母に変わりはない。家事や育児との両立は、復職の大前提。家族の理解も欠かせない。

着付けのスキルを手に入れた真弓さん。子育てのブランクをスキルアップでプラスに転じ、今年中の復職を目指す。


集中して手順を覚える真弓さん

未来への第一歩

ホームランを打てるよう足腰を鍛えたい



武藤圭汰君
小５　赤坂東野字内ヶ竜

ホームランを打ちたいです。そのために家でも練習や筋トレをして足腰を鍛えます。修希君と翔大君に負けないように上手になりたいです。

美容関係の資格を取って復職を目指したい



荒井いづみさん
24　赤坂西野字本坂

美容関係の仕事への復職を目指しています。今年は資格を取りたいです。プラスになるし、モチベーションアップにつながると思います。

エアロビなどに挑戦して体を動かしたい



湯坐啓実さん
53　赤坂中野字新宿

内勤で運動不足になりがちなので、普段からウオーキングをしています。今年は、エアロビなどに挑戦して、もっと体を動かしたいです。

祖父母のために料理を覚えたい



我妻美空さん
中１　西山字落合

両親が仕事で忙しいときは、私が祖父母にご飯を作ってあげたいので、料理を覚えたいです。お手伝いをしながら腕を上げます。

軟式野球の東北大会に出場したい



大森寛之君
高２　渡瀬字中野町

チームの目標「打倒、平工」を達成して東北大会に出場したいです。自分は、守備と打撃の両方でチームに貢献したいです。

整体師の資格を取ってライダーを支えたい



森隆之さん
38　赤坂東野字楢久保

フリースタイルモトクロス（ＦＭＸ）はけがの多い競技。整体師の資格を取って、選手の心身のケアをしっかりサポートしたいです。

挑戦は、誰もが持っている先天性の能力だ。例えば赤ちゃん。ハイハイをしたり、歩いたり、言葉を話したりするようになる。人は挑戦することで成長する。

小さいころは、誰もが同じように成長していくのに、大人になると個人差が生まれるのはなぜだろう。主任児童委員の菊地朋子さん（62）＝渡瀬字下＝は「育児や家事などの忙しさ、過度な知識や過剰な意識が壁になって、一歩踏み出すことをためらってしまうのかもしれません」と指摘する。さらに「子育てする親が子どもといっしょに成長するように、大人になっても成長できます。まずは、一歩踏み出すこと、挑戦することが大事です」とも。

踏み出し方は人それぞれだ。野球選手に憧れて「ぼくもなりたい」と練習に励む野球少年は夢や目標が明確だ。一方、友達に誘われ、軽い気持ちで書道を始めた人が、続けていくうちにその魅力に引き込まれ、ライフワークにしてしまうことも少なくない。つまり、後から夢や目標が生まれることもある。

―歩踏み出した後に大切なことは努力。例えば、毎日練習している部員と練習していない部員が同じ能力だった場合、監督はどちらをレギュラーにするだろうか。当然、

2015年、わたしたちはチャレンジします！

組合員、関係者でジンギスカンをやりたい



円谷次男さん
69　富田字中沢

「中沢めん羊の里づくり」が始まって今年で10年。公約に掲げた「組合員と関係者でジンギスカン」を実現したいです。

仕事を通して社会に貢献したい



笹島達也君
高3　青生野字姿平

4月から社会人。早く職場や仕事に慣れて自立したいです。新しい生活に不安はなく、仕事を通して社会に貢献したいです。

高校では長距離にも挑戦してみたい



蛭田渉君
中3　赤坂中野字宿ノ入

中学では短距離専門でしたが、高校では長距離にも挑戦したいです。みんなより早くゴールしたときの爽快感はたまりません。

鮫川の名所を巡り、魅力を発見したい



市川真澄さん
42　西山字水口

鮫川には強滝などの名所があります。まだ行ったことがないので、今年は行きたいです。行って、鮫川の魅力を発見したいです。

企画や経営を学び、牛乳の6次化目指したい



清水大翼さん
26　赤坂東野字葉貫

商品開発、企画や経営について勉強し、牛乳の6次化を目指したいです。いずれは、ソフトクリームの加工、販売も手掛けたいです。

年間150冊読破が目標。家では新聞も



岡部梨音さん
小5　青生野字赤小名

1年間で150冊の本を読みたいです。学校に新しい本が入ったので楽しみです。家では新聞を読んでみようと思います。

練習している部員だ。理由は、努力する姿が他の部員の励みになったり、チームの信頼につながったり、周囲によい影響を与えるからだ。そして、それがチャンスを呼び込むことにつながるからだ。チャンスは、能動的な人が得るものであり、受動的な人には巡ってこない。

種をまいて、芽が出る。芽が出て育って花が咲くように、踏み出すこと自体が挑戦の始まりである。踏み出すことが自信につながり、自信を持てると心理的にリラックスできる。リラックスできるとポジティブに取り組めるようになり、楽しさが生まれる。楽しくなるとますますやる気が生まれ、良い方向に進む。これが挑戦から生まれる「正の連鎖」だ。踏み出すきっかけは、自身の決意だけでなく、家族の一言や友人の応援など多種多様。あなたの一言が誰かの背中を押すこともある。

2015年は、鮫川村にとっても新しい一歩を踏み出す大切な一年。第4次鮫川村振興計画が始まる。村も村民の皆さんに負けないよう、10年後の鮫川未来予想図に向かってパワフルに、エネルギッシュにチャレンジしたい。未が来ると書いて未来。羊が羽ばたくと書いて翔ける。さあ、立ち止まってはいられない。一緒に一歩を踏み出そう。

村内産食材を使った多彩な料理に舌鼓

「鮫川の郷土料理を楽しむ会」は11月22日、村公民館で開かれ、村内外から訪れた多くの来場者が「鮫川の食」を味わいました。

同会は、ふるさとの味を伝承する郷土料理の普及、食育や地産地消の推進などが目的。会場には、村内で生産・加工された食材をふんだんに使った料理のほか、▼山際食彩工房（会津若松市）・山際博美さんの村内産食材の味を生かした創作料理▼特産さめがわ合同会社（前田勝之代表社員、会員23人）の「じゅうねんおはぎ」▼明日飛学園の特製ギョウザ▼地域おこし協力隊員が開発している抹茶くず湯やしょうが湯―など、個性あふれる自慢の品が所狭しと並べられ、来場者はあれもこれもと箸を伸ばしていました。

「楽しむ会」に先立ち行われた「第11回アイディア料理コンテスト」の表彰式も開催され、特産品開発や地産地消などに功績のあった11人に、表彰状と記念品が贈られました。

今年のテーマは「大豆を使っ



1

鮫川の郷土料理を楽しむ会

ふるさとの味を次世代へ 鮫川の「食」を生かして 元気な村づくり

た我が家の自慢料理」。17点の応募の中から、厳正な審査の結果「とっても大豆なフロランタン」が最優秀賞に選ばれました。会場には、入賞作品が展示され、来場者はアイデアあふれる一品に感心していました。

食という字は人に良いと書きます。農薬や化学肥料に頼らずに作られた安全、安心の農産物や古くから古里に伝わる伝統の味は鮫川の宝です。豊かな「食」と農業の重要性などを再認識し、村内外に「食」の魅力を発信した「楽しむ会」。今後も食と農を生かした元気な村づくりに期待が寄せられています。



2



4



3

1_ 村内産の食材をふんだんに使った料理を味わう来場者
2_ おいしい料理に会話も弾む
3_ テーブルには、約30種類の料理が所狭しと並べられ、来場者をもてなした
4_「楽しむ会」には、昨年を上回る約200人が来場。県外から訪れた人もいて、会場はにぎわった

鮫川村アイディア料理コンテスト 審査結果（敬称略）

■**最優秀賞（村長賞）**=「とっても大豆なフロランタン」小森多恵子（赤坂東野字戸草）
■**農林事務所長賞**=「おこわ達者の寄り合い」高橋教子（西山字押野）
■**優秀賞（商工会長賞）**=「まめ・豆ぼー！！」遠藤きくえ（渡瀬字上耕地）
■**優秀賞（ＪＡ東西しらかわ鮫川支店長賞）**=「きなこおさつまんじゅう」円谷楓華・初枝（富田字中沢）
■**福島民報社賞**=「豆で達者揚げ」我妻トシ子（西山字落合）
■**福島民友新聞社賞**=「豆腐deヘルシーティラミス」鈴木美里（西山字水口）
■**入賞**=「活などん」根本良子（西山字岩野草）、「干し納豆」齋須信子（赤坂中野字新宿）、「豆乳餅」我妻トシ子（西山字落合）、「おもてなしもみじ汁」落合里づくり協議会、「きな粉入りドレッシング」我妻久子（西山字落合）、「豆ピックル」高橋教子（西山字押野）、「里山の宝石」高橋教子（西山字押野）、「達者のかき揚げ」高橋教子（西山字押野）、「おから炒りチャーハン」本郷まさ子（赤坂東野字戸草）、「豆で達者なり寿司」我妻幸子（西山字落合）、「芋じゃないの豆・豆・豆」我妻幸子（西山字落合）



最優秀賞（村長賞）に輝いた小森多恵子（赤坂東野字戸草）の「とっても大豆なフロランタン」。大豆の風味とほどよい甘さが絶妙

Interview

食材の新鮮さが全面に出た料理は最高

石田桂子さん　東京都北区



食材の新鮮さが全面に出ていて全ての料理がおいしかったです。東京で売られている野菜とは新鮮さが違います。特に、きんぴらごぼう、白和えやじゅうねんおはぎが印象に残っています。鮫川の食材、そして料理は最高です。

いろいろな料理を楽しむことができた

坂本和彦さん、希さん、花梨さん、大夢君　赤坂中野字東前田



友人に誘われて初めて参加しました。五目おこわやきなこ餅が特においしかったです。普段、家庭ではなかなか作れない料理なので、子どもたちもたくさん食べていました。いろいろな料理を楽しむことができました。

第6回鮫川村フォトコンテスト

Samegawa Photograph Contest

さめがわの四季の移ろいを撮る 山紫水明

鮫川村の美しい農村景観の魅力を再認識するとともに、これらを広く村外に発信するために開かれている「鮫川村フォトコンテスト」。テーマは「鮫川村の四季を感じる風景」。村内外の67人から168点の応募がありました。審査会は11月13日に行われ、村カレンダーにふさわしい入賞作品が決まりました。



特選

秋への彩色

藁谷六朗（浅川町）



【福島民友新聞社賞】

準特選

山ユリに包まれて

柏舘健（いわき市）



【福島民報社賞】

準特選

福寿草の咲く里

柏舘光子（いわき市）

入選



ひなげし見ている田の草取り
芳賀伊津子（渡瀬字江竜田）



東堂山
山形一雄（渡瀬字中野町）



桜の広場
千原武和（郡山市）



大好き
河合真紀（郡山市）



収穫の頃
角田駒雄（いわき市）



美しい花火
熊田行雄（鏡石町）



氷華に染まる
斎藤京子（白河市）



虹（文化財を守れ！）
芳賀正訓（渡瀬字江竜田）



星降る夜
入部守弘（郡山市）

佳作



光の森
矢部幸一（須賀川市）



初めての田植え
石井弘美（赤坂西野字酒垂）



春を告げる
近藤広章（白河市）



稲刈りとやぎ
小田島守明（郡山市）



元気元気な西野の未来子
門林泰志郎（いわき市）

村奨学基金奨学生を募集します

募集期間　27年2月17日(火)～3月31日(火)

応募資格　▼品行が正しく、学術に優れ、体が強健である▼鮫川村に引き続き5年以上住んでいるか、住んでいたことがある▼高等学校、高等専門学校、大学などに在学または今春入学予定の人▼経済的理由により修学が困難と認められる▼国や他の団体から同種類の奨学金の貸与または給与を受けていないこと

貸与月額　▼高等学校・各種学校…2万円以内▼高等専門学校…5万円以内。ただし、3年までは2万円以内▼大学院および大学・短期大学・専門学校…5万円以内

貸与期間　27年4月から在学する学校の正規の修学期間

奨学金の償還　▼貸与は無利子で、卒業後6カ月から毎月、10年以内に償還すること（全部または一部を一時償還することができます）▼大学および大学院を卒業後、鮫川村に居住し、農林水産業に10年間就業した人は奨学金の返還を免除されます。

奨学生の決定　選考委員会で願書の内容を審査し、奨学生を決定します。

■問い合わせ　村教育委員会教育課☎49-3151

衆議院議員総選挙

村の投票率 68.39％

12月14日に行われた第47回衆議院議員選挙・最高裁判所裁判官国民審査の投票率は、68.39%でした。

投票区別の投票率は次のとおりです。

■投票区別投票率

投票区	投票率（%）		
	男	女	計
鮫川	69.19	67.59	68.39
西野	71.16	71.43	71.30
西山	66.54	65.65	66.09
富田	70.00	71.55	70.70
渡瀬	62.61	65.47	64.04
青生野	73.45	72.32	72.89
戸草	66.67	70.42	68.42
計	68.39	68.38	68.39

高額療養費制度の限度額が変わります

高額療養費制度とは、ひと月に支払った医療費の自己負担額が高額になった場合、村に申請することで自己負担限度額を超えた分が支払われる制度です。限度額は年齢や所得によって異なります。

27年1月から、70歳未満の人の限度額が変更になり、5段階に区分されます。住民税非課税世帯の限度額は、現行のままです。

■問い合わせ　村住民福祉課住民係☎49-3113

■70歳未満の人の自己負担限度額

所得区分（※1）		自己負担限度額（月額）	4回目以降※2）
上位所得者	901万円超	252,600円（医療費が842,000円を超えた場合、超えた分の1%加算）	140,100円
	600万円超～901万円以下	167,400円（医療費が558,000円を超えた場合、超えた分の1%加算）	93,000円
一般	210万円超～600万円以下	80,100円（医療費が267,000円を超えた場合、超えた分の1%加算）	44,400円
	210万円以下	57,600円	
住民税非課税世帯		35,400円	24,600円

※1　国保の保険税の算定の基礎となる基礎控除後の所得金額
※2　過去12カ月間で、一つの世帯が高額療養費の支給を4回以上受けた場合、4回目以降の限度額

仮設焼却施設周辺 空間線量の測定結果

村仮設焼却炉監視委員会は、毎週金曜日に仮設焼却施設周辺の空間線量を測定しています。仮設焼却施設周辺の空間線量測定結果と関連ファイルは、村および環境省のホームページで公表しています。

■問い合わせ　村地域整備課環境係☎49-3196

■施設周辺の空間線量（12月19日実施）　［μSv/h］

モニタリングポスト測定値	測定箇所	測定値
	仮設焼却炉入口	0.08
	青生野小学校	0.09
	朝日山登山道入口	0.08
	青生野肥育組合	0.10
	鹿角平観光牧場	0.06

仮設焼却炉周辺の測定値	測定箇所	測定値
	施設東側120m	0.08
	施設南側120m	0.10
	施設西側120m	0.10
	施設北側120m	0.12
	仮置場看板付近	0.07
	石久保線起点	0.11
	石久保線終点	0.09
	和協管理棟付近	0.12

エン・ドゥ・ライフ　Vol.9

縁DO LIFE ～笑顔を力に～

緑のふるさと協力隊
遠藤敬介さんの鮫川体験記

鮫川の冬の魅力を探る
温かい温泉と食欲が湧く食材

新年明けましておめでとうございます。凍てつくような寒さを体感する季節になりました。今年は未年ということで、羊の毛のように温かみのある人間になりたいです。

11月にフォトコンテストの展示準備をした際、冬に撮影された作品が他の季節に比べて少ない印象を受けました。だからといって、鮫川の冬に魅力がないとは思いません。

村民保養施設「さぎり荘」は、薪で沸かしているためにお湯が滑らかで、長時間入浴できると好評です。寒さが厳しい鮫川の冬だからこそ、さらに魅力に磨きがかかると思います。また、燃料の薪は間伐材などを利用することで環境に配慮していることもあり、全国の素晴らしい温泉に引けをとらない魅力があると思っています。この時期だからこそ、さらに多くのお客さんに足を運んでもらいたいです。

温泉以外にも冬の魅力はあります。それは、「食」を楽しめることです。冬に恋しくなるのは温かい鍋やおでん。これに欠かせないのが豆腐や厚揚げなどの大豆加工品です。村農産物加工・直売所「手・まめ・館」で作られる大豆加工品は、村外から買い求めるお客さんがいるほど、人気があります。「食欲の秋」といわれますが、私の場合、鮫川で食欲を感じるのは冬です。今後も鮫川の冬の魅力を見つけていきたいと思います。

緑のふるさと協力隊としての活動も終盤に入りました。鮫川で得た経験を次に活かすためには、どのような活動をすればいいのか振り返り考える時期になりました。これまで一歩を踏み出せず出遅れることが多くありましたが、残りの活動を悔いが残らないよう過ごしていきたいです。









1．中沢のめん羊組合でめん羊の毛刈りを体験しました。
2．グリーンツーリズムで紙漉き体験している様子を見学しました
3．森づくり100年委員会の皆さんと管理作業を行いました。
4．筋力づくり教室でサンタクロースに仮装しました。

facebook
「緑のふるさと協力隊 in 鮫川村」
「いいね！」お願いします。

宗田ユキさんの白寿を祝う
大正4年生まれ満99歳を迎える


表彰状を持つ宗田さん

大正4年12月1日生まれで満99歳を迎えた宗田ユキさん＝赤坂東野字官代＝に同日、自宅において大樂村長から白寿を祝う表彰状などが手渡されました。耳が聞こえるので、テレビを見て過ごすのが日課だという宗田さん。「好き嫌いせずに何でも食べることが長寿の秘訣」と話しました。


大きな声でセリフをいう園児たち

歌や劇を元気に発表
こどもセンターお遊戯会

さめがわこどもセンターのお遊戯会は12月6日、同センター体育館で開かれ、子どもたちが練習の成果を元気に発表しました。クラスごとに劇を発表したほか、幼稚園児による歌と合奏、得意技などが披露され、子どもたちの成長した姿に保護者からは大きな拍手が送られました。

栄えある受賞

地域農業発展などの功績認められ 芳賀さんが「永年勤続農業委員表彰」を受賞



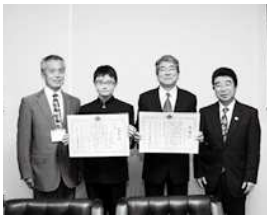
長年にわたり地域農業の振興および発展に尽力した功績が認められ、芳賀登さん(64) ＝渡瀬字田苗下＝に福島県農業会議から「永年勤続農業委員表彰」が贈られました。芳賀さんは、14 年7月20日から26 年7月19日までの4期にわたり、村農業委員を務めました。

青生野小学校の取り組みが認められ 「県教職員研究論文」で特選を受賞



「平成26年度県教職員研究論文」において、青生野小学校(遠藤真由美校長、児童12人) が特選を受賞しました。同校の言語力・表現力を高める学習指導などが高く評価されたものです。表彰式は12月3日、県南教育事務所で行われ、遠藤校長が表彰状を受けました。

中学生人権作文コンテストで 中川西さんが「県奨励賞」を受賞



「全国中学生人権作文コンテスト」県大会において、鮫川中3年の中川西伯仁さん＝石井草字関ノ上＝が「奨励賞」を受賞しました。また、同校から多数の応募があったとして、福島地方法務局長と県人権擁護委員連合会長から同校に感謝状が贈られました。

村政TOPICS

年末年始の無事故を呼びかける

交通安全協会鮫川支部と村交通対策協議会は、年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動初日の12月10日、宿ノ入交差点で「交通安全テント村」を行いました。

関係者は、通行するドライバーにチラシや手袋を配りながら早めのライト点灯などを促し、年末年始の交通安全を呼びかけました。


安全運転を呼びかける関係者

力作並んだ文化祭作品展示

村文化祭行事の一環である「文化祭作品展示」は11月28日から12月2日までの5日間、村公民館で行われました。

会場には、村内の文化団体、個人、児童生徒、社会学級や公民館事業の参加者

ほっとニュース

中野チームが６年ぶり３度目の優勝
第25回鮫川村民駅伝競走大会

村体育協会主催の「第25回鮫川村民駅伝競走大会」は11月23日、渡瀬字福原地内をスタート、役場前をゴールとする10区間、21.17㌔のコースで行われました。

大会には、地区体育協会単位の７チームが出場。王者奪還に燃える中野チームは、６連覇を狙う西野チームに対し、２区以降トップを譲らぬ圧巻の走り。６年ぶり３度目の優勝を果たしました。

▶**総合順位**　①中野②西野③東石④渡瀬⑤西山⑥富田⑦青生野▶**区間賞**　1区…緑川春香(富田) 2区…鈴木悟(中野) 3区…須藤玲奈(西野) 4区…中川西夢奈(東石) 5区…青戸悠之介(富田) 6区…須藤康太(西野) 7区…円井純一(中野) 8区…圓井敏彦(中野) 9区…鈴木連(中野) 10区…圓井彰彦(中野)





上＿勢いよくスタートする選手たち
左＿ゴールテープを切るアンカーの圓井選手



録音を行った芳賀さんと北條さん

午後４時になります･･･
冬休みの「声」は芳賀さんと北條さん

冬休み期間中の夕方に流れる防災無線「冬休みの声」を担当しているのは、鮫川小６年芳賀彩乃さん㊧と北條綾乃さん㊨です。12月16日、役場放送室で録音を行った２人は「練習したので、緊張せずに録音できました。放送される自分たちの声を聞くのは少し不思議な感じです」と話しました。

日頃の活動成果を披露
ふる里文化芸能発表会

村ふる里文化芸能クラブ主催の「ふる里文化芸能発表会」は11月24日、村公民館で開かれ、文化団体や個人が日頃の活動の成果を披露しました。大正琴の演奏、詩吟、民謡、日本舞踊やスポーツ民謡など、さまざまな芸が次々と繰り広げられ、会場に訪れた観客を楽しませました。



息の合った舞が披露された

村政TOPICS

生産者への感謝の気持ち新たに

学校給食の食材生産者と子どもたちが触れ合う「食と農の交流会」は12月４日、鮫川小と青生野小の両校で行われました。

子どもたちは生産者と一緒に給食を楽しみながら農業や食の大切さを学び、生産者への感謝の気持ちを新たにしました。



会話を楽しむ児童と生産者



数多くの作品が並んだ展示会場

などが作り上げた力作が数多く展示され、来場者の目を楽しませました。

村民【随想】リレー ―― 198

金澤省明さん

ふるさとへの思い



かなざわ・よしあき●昭和29年５月生まれ。赤坂中野字新宿在住。特別養護老人ホームさめがわ(水口)勤務。趣味は映画鑑賞とゴルフ。モットーは「人生、期待を持って生活していれば何が起こるかわからない」

YOSHIAKI KANAZAWA

「星空がきれいで、お月さまがこんなに明るいなんて」。それほど都会に住んでいたわけではありませんが、36年ぶりに鮫川で生活することになったとき、その美しさに驚きました。

長男でありながら村を出なければならなかった後ろめたさを多少感じながらも、帰ってくるたびに元気をもらった鮫川。いずれは、及ばずながら恩返ししたいという思いを持ち続けていました。

そんな思いが通じたのか、６年前、村で仕事をすることになり、第３の人生が母との二人暮らしという形で始まりました。しかし、母は２年ほど前から施設にお世話になり、私は「手・まめ・館」と「さぎり荘」に毎日お世話になっています。まさに「亭主元気で留守がいい」のような生活です。

「ふるさとは遠きにありて思うもの」と長いこと思っていましたが、メリハリのある四季と豊かな自然、そして何よりも人と人とのつながりがある鮫川で生活できていることに心から感謝しています。

第４の人生があるかは分かりませんが、最後のページはやはり鮫川で締めくくりたいものです。

■

次は、須藤幸子さん(赤坂東野字遠ヶ竜)にバトンタッチ!

俳句

初雪や庭の小鳥の数増やす　中井　恒峯
霜降りてキウイ収穫真盛り　北條素人坂
米価落ち長(おさ)の判断助成金　松本　精一
七五三木履下駄の音歩む　前田　縫子
清流に紅葉はらはら不動尊　鈴木　米子
真夜中の初雪明り静もれる　黒田　寿香
初雪やアベノミクスの選挙カー　齋須　信子
遅番を終えて見上げる霜夜かな　山本　恵子
むしゃぶるい半月の窓厠出る　土　竜　庵
家ごとに漬菜干しある日和かな　山本五十鈴

短歌

涼やかさ　心を凛と向き合わす道
端に咲く　つゆ草の花　鈴木イミ子

旅の疲れ覚えさせない元気なる孫
が迎えの　声上げる庭　佐藤　春枝

敵である武田に塩を送りつつ花も
実もある　謙信の偉業　矢吹　定子

庭園の中に散り来る錦の葉　拾い
集める夫は今日も　須藤　幸子

流れ行く雲に心を乗せて見る飛ん
で行きたい　故郷の空　水野　珠子

無限なる心の道を教えたる祖母の
言葉は今も生きている　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い34

イルミネーションで集落を照らす



真坂三矢会

矢吹浩美部長

「真坂三矢会」は、年末年始にかけて真坂公園にイルミネーションを設置し、真坂集落をはじめ、公園の前を通る多くの人たちを明るい気持ちにさせています。イルミネーションは、新年の干支をモチーフに考えられ、設置に丸一日を要するほど大掛かりなものです。

もともと、団結力の強い真坂集落。「地域活性化のために何かイベントを」と若者集が動き出したことがきっかけです。団体名の「三矢」には、結束する意味も込められているといいます。今年で、結成9年。解散の話が出たときもありましたが、「毎年楽しみにしている」という声に支えられ活動を続けています。「毎年恒例になっていて、やめるにもやめられない」と矢吹会長ははにかみます。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

白蓮れんれん

（林真理子著、集英社）



「筑紫の女王」と呼ばれた美しき歌人・柳原白蓮は年下の恋人・宮崎龍介と駆け落ちした「白蓮事件」。華族と平民という階級を超え、愛を貫いた二人の命掛けの恋。真実に生きようとする大正の女たちを描き出す小説。

461個の弁当は、父親と息子の男の約束。

（渡辺俊美著、マガジンハウス）



父から息子への愛情を、いつも弁当が運んでくれた。二日酔いの朝も、早出の朝も。毎朝、弁当慣れしていない父親が高校生の息子に作った弁当461食。無骨だけど愛情たっぷり！涙と笑いの弁当エッセイ。

第3土曜日は **家族一緒に読書の日**

雨の日も風にも厭わず働きし過去が匂える田の土の色　溝井　清乃
畑の道今朝も草葉に光らせて玉露散らす清しきまでに　坂本　伊紀
自由なる世にこそ思う　靖国に祀られてある霊の尊さを　一　平　子
亡き夫が植えて愛でたる岩ヒバに今朝は真っ白霜覆う年の瀬　石井　幸子
玉納め湯壺に浸りて華やげばゲイトボールの楽しさ尽きずに　須藤シツエ
迷いこむ子猫哀れと餌やれば私の足元ついて離れず　前田喜三子
今は只老いたる心淋しくも過去を振り向くその日が楽し　関根ヨネ子
窓越しの陽射しに包まれ大掃除寒さ身に染む師走の夕暮れ　藤田千代子
友の家空き家となりて今朝も又霜に染まりてひそと淋しい　関根ハナヨ
巡り来ぬ効用は散り果て吹き荒れる北風小僧に侘しさ募る　関根　富久
絆おば強く深くと気配りぬグランドゴルフの降り来る小雨に　板橋　源良
迷いつつ独りで作る米なりき反九俵の実りとなりぬ　関根キヌ子
公約で身を切るはずが置き去りに大義無き解散国民心情は　矢吹　一二
霜踏みて畑を巡ればつま先に冷たさ強くじんと伝わる　北條　平

あなたの光る技
キラり
Vol.30

ミニ門松
水野きよ子さん
みずの・きよこ／赤坂中野字宿ノ入／64歳

鮫川は材料の宝庫 世界に一つだけの作品が作れる



植物の生きる知恵など、自然の偉大さを気付かされるといいます

竹、松の葉や木の実などで作られた手のひらサイズのミニ門松。「大きくて立派なものは作れないので、自分で作れる方法はないかと考えました」と水野きよ子さんは恥ずかしそうに話します。

もともと、自然が好きだったきよ子さんは、散歩をしながら落ちている木の実や枯れた植物が魅力的な形をしていることに気付きました。「宝石を見つけたような気持ちになります。一つ一つ見ると、形がかわいいんです」と、これまで集めたものをいとおしそうに眺めます。これを材料に、ミニ門松をはじめ、リースなどの壁飾りなどを作っています。「難しくありません。鮫川は材料の宝庫なので、世界に一つだけの作品が気軽に作れます」と、手際よく材料を熱したボンドで接着していきます。

「木の実や枯れた植物で飾りを作ると話すと、驚かれたこともありました」と笑います。素通りしてしまいがちな枯れた植物がひと工夫加えるだけで、生まれ変わります。「花を楽しんで、実を楽しんで、枯れても楽しめます。こんなに楽しませてもらって自然に感謝しています」とさらに顔がほころびます。



作り方にルールはないと話すきよ子さん。材料は身近にあるので、興味があれば子どもでも簡単に作れます

若者の広場　No.121

Young Plaza

蛭田康暉さん

自然の観光名所がたくさん



ひるた・こうき
平成６年１月15日生まれ　20歳
Ｂ型　やぎ座
趣味はカラオケとボクシング
渡瀬字福原在住

■今、夢中になっていることは何ですか？

最近、車を買ったので、これからどんな装飾をしていくかを考えています。これまでにクラクションの付け替えを自分でやりました。

■将来の夢は何ですか？

25歳までに結婚したいです。男３人兄弟なので、子どもは女の子は必ずほしいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

鹿角平観光牧場や江竜田の滝など、自然の観光名所がたくさんあるのがいいと思います。特に江竜田の滝は好きなので、時間があるときに行っています。でも、村外の人に話すと、知っているけど来たことがないという人がいるので、もったいないと感じます。

■鮫川村に要望などはありますか？

若い人が議員や役場職員と一緒に酒を飲む機会があると面白いと思います。固い人というイメージを持ってしまいがちなので、垣根を越えて気軽に話せるのではないかと思います。

■

次は下重智也さん（渡瀬字関口在住）の予定です。

学校だより

（123）

青生野小学校編

スポーツ大好き！　さめがわスポーツクラブとの連携

今年度は体力向上を目指し、さめがわスポーツクラブの蛭田清代枝さんに体育の指導をお願いしています。これまで、リレー、走り幅跳び、走り高跳び、ハードルや体ほぐしの運動などを行いました。



11月5日には、保護者や地域の皆さんに呼びかけて「ボールを使った運動」に取り組みました。授業では、ボールを蹴ったり触ったりする基本動作やボールを奪い合う鬼ごっこ遊びなどを通してボールに慣れました。保護者や教員も子どもたちと一緒に、ボールを使ったさまざまな動きを楽しみました。今後も、マラソンやなわとびなどに積極的に取り組んで、寒さに負けない丈夫な体づくりをしていきたいと思います。

大豆収穫から豆腐作り、販売体験まで

11月19日、岡部喜一郎さんを講師に学校農園で収穫した大豆の選別作業を行いました。昨年度に比べると大豆の出来は良くありませんでしたが、子どもたちは数少ない貴重な大豆を一粒一粒丁寧に選別しました。

同月25日には、「手・まめ・館」のスタッフの皆さんと豆腐作りに挑戦しました。にがりを入れた途端に豆乳が固まると子どもたちは驚いた様子でした。出来上がった豆腐は、役場や学校などで販売しました。地域や保護者の皆さんに「夕飯で食べるからね」と声をかけられ、子どもたちはうれしそうでした。



（文・写真／青生野小学校）

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ 案内

農林業センサスに協力してください

農林水産省では、27年2月1日現在で、全国一斉に「2015年農林業センサス」を実施します。

農林業センサスは、5年ごとに我が国の農林業および農山村地域の実態や変化を明らかにし、農林業施策に役立てることを目的とした統計調査です。

1月中旬ごろから、調査票の記入依頼に調査員が訪問しますので、ご協力をお願いします。

調査の対象　農家や林家、会社や集落営農など、農林業を営んでいる経営体

調査内容　経営の状態、世帯の状況、作業の受委託、耕地、農業生産の概況、農産物の販売、山林・林業作業、素材生産など

調査方法　県知事が任命した調査員が調査票の配布・回収を行います

問　村企画調整課企画振興係☎49-3115

新成人の皆さん 20歳になったら国民年金加入手続きを

日本に住む20歳から60歳までのすべての人は、公的年金に加入し保険料を納付することが義務付けられています。厚生年金や共済年金に加入している人を除き、成人の責任として国民年金の加入手続きを忘れずに行いましょう。加入手続きは、20歳の誕生日の1日前からできますので、日本年金機構から直接、本人に送付される届出用紙または役場住民福祉課住民係に備え付けの届出用紙に氏名などを記入し、届出してください。

保険料の支払いが困難な場合に、申請により保険料が免除される制度や学生および30歳未満の人には後払いにできる納付特例、納付猶予制度がありますので、希望する人は忘れずに申請してください。

問　村住民福祉課住民係☎49-3113／日本年金機構☎0248-27-4165

個人住民税の特別徴収義務者を一斉指定します

県と県内市町村は、個人住民税の特別徴収を推進するため、対象となる事業主（給与支払者）を特別徴収義務者として一斉指定します（県南地区は28年度から）。

個人住民税の特別徴収とは給与支払者（事業主）が、所得税の源泉徴収と同様に個人住民税の納税義務者である給与所得者（従業員）に代わって、毎月支払う給与から個人住民税（個人村民税と個人県民税）を徴収（差引き）し、納入する制度です。

問　村総務課税務係☎49-3111

歯の日　8日は

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

1月の担当は――――

鮫川幼稚園

山形　蓮君
小林穂乃香ちゃん
森田朱音ちゃん
鈴木陽向ちゃん
（写真左から）



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎　0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手･まめ･館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

information

募集

26年度（中途採用）鮫川村嘱託員募集

職種区分　技能労務員
採用予定人数　1名
応募資格　昭和35年4月2日以降に生まれた人で大型特殊免許および車両系建設機械（整地・運搬・積込み用）技能講習修了証を有する
雇用期間　雇用された日から27年3月31日まで。週5日勤務（月曜日～金曜日）
受付期間　27年1月16日（金）まで
申込方法　役場総務課に備え付けの申込書に必要事項を記入し、免許資格を証するものの写し、健康診断書を添えて申し込んでください。
試験日時　書類受付後、お知らせします。
試験内容　個別面談
試験会場　役場会議室
問　村総務課総務係☎49-3111

相談

確定申告書作成相談のお知らせ

白河税務署は、確定申告書の作成および提出会場を次の場所に開設します。
会場　白河市産業プラザ人材育成センター2階「講堂」（旧白河地域職業訓練センター）
開設期間　27年2月2日（月）～3月16日（月）
開設時間　午前9時～午後4時
問　白河税務署☎0248-22-7111

原子力損害賠償巡回法律相談

県は、原子力損害賠償請求手続きなどについて、弁護士による法律相談を開催します。相談は無料ですが、事前予約が必要です。不明な点など、気軽に相談してください。
日時・場所　▼1月15日（木）塙町・塙農村勤労福祉会館「小研修室」▼1月22日（木）白河商工会議所2階「交流室」
対象者　原子力事故で損害を受けている個人または事業者
予約受付番号　024-523-1501（平日の午前8時30分から午後5時15分まで）
問　県南地方振興局復興支援・地域連携室☎0248-23-1509

司法書士による無料相談会

相談内容　不動産登記や会社登記、相続・遺言、多重債務、少額の裁判、成年後見などに関する法律相談
開催日時　1月15日（木）午後1時～4時
場所　須賀川中央公民館2階「OA研修室」
受付　事前に予約が必要です。祝祭日を除く月～金曜日の午前10時～12時30分、午後1時30分～4時
問　白河司法書士総合相談センター☎0248-21-8003

むし歯のない子

11月19日実施の3歳児健診

11月19日に村保健センターで実施した3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児8人中6人でした。



石沢昭星（あきら）君　赤坂西野字茅
①父・裕昭　母・彩実
②寝る前の歯みがきはていねいに時間をかけてみがくように意識しています。



鈴木洸祐（こうすけ）君　西山字水口
①父・洋一　母・恵美子
②お兄ちゃんと一緒に夜の歯みがきを頑張りました。



関根そらちゃん　西山字水口
①父・巨樹　母・涼佳
②「大きい口開けて」と毎日いい聞かせながらみがいています。頑張っています。



蛭田祐麻（ゆうま）君　赤坂中野字東前田
①父・紀幸　母・こずえ
②毎日、夜の歯みがきを頑張りました。仕上げみがきをしっかりするように心掛けました。



石井丈琉（たける）君　西山字西野内
①父・貴大　母・利果
②毎晩、仕上げみがきをしました。丈琉も大きな口を開けて協力してくれました。



田子未来（みらい）ちゃん　赤坂西野字草牛
①父・勝亮　母・祐子
②仕上げみがきをしっかりやっています。自分でも頑張って歯みがきを続けています。

January
1

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［こ］＝こどもセンター

火	水	木	金	土
		1/1 元日 ㊡ふじた循環器科内科クリニック（棚倉町） ☎33-2013 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「手・まめ・館」定休日 ●「すまいる」定休日 ●「さぎり荘」定休日	**2** ㊡金澤医院（矢祭町） ☎46-2312 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「手・まめ・館」定休日 ●「さぎり荘」定休日	**3** ㊡和田医院（棚倉町） ☎33-2012 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「さぎり荘」定休日
6 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**7** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「手・まめ・館」定休日 ●「さぎり荘」定休日	**8** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●幼稚園、小・中学校始業式	**9** ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**10**
13 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**14** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●やまぶきの会… 10:00 ～ 15:00[保] ●やまゆり保育室［こ］ ●おはなしの森… 16:00 ～ [図]	**15** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**16** ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**17**
20 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●心配ごと相談… 13:00 ～ 15:00[公] ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**21** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**22** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**23**	**24**
27 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●やまゆり乳児室［こ］	**28** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●6～7カ月児健康相談…9:30 ～ [保] ●10カ月児健康診査・お母さんの口腔健康相談…13:00 ～ [保]	**29** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**30**	**31**
3 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**4** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「手・まめ・館」定休日 ●「さぎり荘」定休日 ●やまぶきの会… 10:00 ～ 15:00[保] ●やまゆり保育室［こ］	**5** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●「すまいる」定休日	**6** ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**7**

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

11月届け出分・敬称略

お誕生はありませんでした。

おくやみ

11月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
水口	圓井　キノ	11. 9	90歳
広畑	穂積　チカ	11.24	89歳
宿ノ入	大河内　平	11.25	82歳
道少田	緑川　フク	11.28	86歳

人の動き

12/1現在・（　）は前月比

人口	3,850人	（－ 6）
男	1,946人	（－ 1）
女	1,904人	（－ 5）
世帯	1,166戸	（－ 1）

寄付寄贈

11月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…圓井彦徳（鬼越）　大河内由夫（宿ノ入）

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

編/集/後/記

■新年あけましておめでとうございます。今年も必要とされる「広報さめがわ」を目指し、皆さんと一緒につくっていきたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。■2015年は、小さな目標を一つずつ達成して、着実に成長していきたいと思います。（前田）

暮らしのカレンダー

日	月
4 ㊡東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 ●「さぎり荘」定休日 ●消防団出初式 第1日曜日は環境美化の日	**5** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●役場仕事始め
11 ㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424 ●第67回鮫川村成人式	**12** 成人の日 ㊡ 東白川中央医院（棚倉町）☎33-3263 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
18 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 ●文化財防火デー火災防御訓練	**19** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
25 ㊡塙厚生病院（塙町）☎43-1145 ●村インディアカ大会	**26** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
2/1 ㊡木村医院（矢祭町）☎46-3528 第1日曜日は環境美化の日	**2** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●後期高齢者医療保険料（第6期）納期限

広報 さめがわ
Public Relations SAMEGAWA
1 January 2015
平成27年1月1日発行（毎月1日発行）
第729号（昭和27年9月創刊）



Happy Wedding File_13

鏑木卓弥さん　妙子さん

赤坂中野字伏木田／平成26年10月結婚

●**２人が知り合ったきっかけは？・・・**共通の友人がきっかけで飲み会の席が一緒になり、それから何度か食事をしているうちに親しくなりました。
●**結婚の決め手は？・・・**一緒にいて楽しいし、うまくいくなと思いました。
●**出会ったときのお互いの第一印象は？・・・**（夫→妻）よく笑う人（妻→夫）いい人そう、優しそうな人
●**子どもは何人ほしいですか？・・・**２人もしくは３人ほしいです。理想は、「一姫二太郎」です。
●**理想の家庭は？・・・**何でも話し合える関係でいたいです。子どもが生まれてからも、いつまでも冗談を言い合って笑いが絶えない家庭が理想です。

こちら **村長室**

▼「一日一歩、三日で三歩、三歩進んで二歩下がる」。そんな思いで少しでも前進するために取り組んできました。あっという間の一年でした。年を重ねるたびに一年の経過が早く感じると言います。特に、親しい友人との楽しいひとときこそ、そう感じます。楽しい日々が多いことでのことなら喜ばしいですが、決してそんな一年ではありませんでした。今年こそは穏やかな一年になることを願っています。▼「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」といいます。有意義な楽しい時間を多く過ごしたいと思います。年の始めに私は一年の努力目標を掲げました。「一日一善」です。よく知られた言葉ですが、村政充実のため、自らの人生のため、小さな努力を日々続けたいと思っています。▼村民一人一人の「一日一善」が村を動かす大きな力になると考えています。皆さんも挑戦してみませんか。「一日一善」に。

大樂勝弘

発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5